

## 審議会等の会議録

|        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会議の名称  | 令和４年度第１回大牟田市子ども・子育て会議                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 開催日時   | 令和４年８月５日（金） １３時００分～１５時００分                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 開催場所   | 大牟田市保健センター３階 会議室                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 出席委員   | <p>【１２名】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宮田 忠雄（大牟田市退職小学校長会）【会長】</li> <li>・坂口 明夫（甘木山学園）</li> <li>・猿渡 保生（大牟田市保育所連絡協議会）</li> <li>・奥藺 睦子（大牟田市民生委員・児童委員協議会）</li> <li>・馬場 朋文（大牟田市社会福祉協議会）</li> <li>・早川 由美子（大牟田市学童保育所・学童クラブ連絡協議会）</li> <li>・辻 裕子（大牟田医師会）【副会長】</li> <li>・堤 さゆり（大牟田市小学校長会）</li> <li>・安元 大介（大牟田地区私立幼稚園協会）</li> <li>・渡部 綾（市民委員）</li> <li>・妹尾 嘉奈子（市民委員）</li> <li>・井形 美里（市民委員）</li> </ul> |
| 欠席委員   | <p>【１名】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西田 真理（大牟田市立小・中・特別支援学校 PTA 連合会）</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 事務局    | <p>保健福祉部 中村部長</p> <p>保健福祉部子ども未来室 川地室長</p> <p>保健福祉部子ども未来室</p> <p style="padding-left: 20px;">子ども育成課 吉澤課長、井形主査、中島主査、橋本主査、坂口</p> <p style="padding-left: 20px;">子ども家庭課 原課長、山田主査、鶴田主査、池田主査</p>                                                                                                                                                                                                               |
| 公開・非公開 | 公開                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 傍聴者数   | ０名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 会議次第   | <ol style="list-style-type: none"> <li>１ 委嘱状交付等             <ol style="list-style-type: none"> <li>（１）委嘱状交付</li> <li>（２）副市長挨拶</li> </ol> </li> <li>２ 会長及び副会長選出</li> <li>３ 大牟田市子ども・子育て会議について</li> <li>４ 第二期子ども・子育て支援事業計画について</li> <li>５ 大牟田市の子育て支援について</li> <li>６ （仮称）子ども・子育て応援条例について</li> <li>７ その他</li> </ol>                                                                                           |

## 《会議の経過》

### 1 委嘱状交付等

出席委員に委嘱状を交付し、副市長から挨拶を行った。

### 2 会長及び副会長選出

大牟田市子ども・子育て会議条例第4条の規定に基づき、委員の互選により、宮田委員を会長に、辻委員を副会長に決定した。

大牟田市子ども・子育て会議条例第5条の規定に基づき、宮田会長が会議の議長を務め、議題3以降の議事進行を行った。

### 3 大牟田市子ども・子育て会議について

資料1に基づき事務局から説明。

(質疑応答なし)

### 4 第二期子ども・子育て支援事業計画について

資料1に基づき事務局から説明。

(質疑応答なし)

### 5 大牟田市の子育て支援について

資料2に基づき事務局から説明。

(委員)

第二期子ども・子育て支援事業計画の量の見込みは、コロナ禍になる前に令和6年度までの設定で作成されている。人口の推移など若干変わっている部分もあると思うので、見直すべきことがあるのではないかと思います。大牟田市の保育所等は待機児童がいない状況。出生数が減って、地域によっては入所数が減っている園もある。利用定員の見直しも速やかにしてもらえると、子どもの環境や保育士等の職員の環境も落とさずに計画を進めていけるのではないかと思いますので、再検討してもらえればと思う。

(会長)

第二期大牟田市子ども・子育て支援事業計画の量の見込みについて、要望に近い形で意見が出されたが関連して何かないか。なければ事務局から何かあればお願いしたい。

(事務局)

今ご意見をいただいたように、策定した時点と現在を比べると、新型コロナウイルスの感染拡大や、それに伴う出生数の減少といった、当時は予測していなかった状況になっている。そういうことも含めて、中間見直しが必要ではないかと思っているので、事務局で検討しているところ。見直しをする際には、この子ども・子育て会議でいろいろなご意見をいただきたいと思っている。保育所等の定員の件についても、しっかり協議をさせていただきながら検討をしていきたいと思っている。

(会長)

今年度は中間見直しの時期なので、今のような要望についても事務局で検討してもらい、皆様にお知らせしてもらえたらと思う。

## 6 (仮称) 子ども・子育て応援条例について

資料3に基づき事務局から説明。

(会長)

このような条例は福岡県内でも一部しか制定していないということで、非常に先進的・積極的な取組だと思う。事例として丸亀市の条例が示されているので、まずは5分ほど目を通す時間を取りたいと思う。

(5分間資料黙読)

(委員)

2点申し上げたい。応援条例についてはとても有意義な取組だと思うので、ぜひ良いものを作ってもらいたいと思う。児童福祉分野では子どもは18歳未満であり中高生も含んでいる。6月に児童福祉法の改正があり、社会的養護の子どもたちを対象として、子どもアドボカシーといって、子どもたちの声をしっかり聞くことが法律に盛り込まれた。様々な制度やサービスを受ける側、当事者の声を聞くということ。そういった意味では、関係団体のヒアリングという中では、ぜひ中高生の子ども達の声や意見をなんらか反映させるようなやり方を考えていただきたい。特に、子どもの権利条約の中で、「生きる・育つ・守られる・参加する」という権利が保障されているので、子どもたちが何らかの参加をしたという証（あかし）があるのは、大事なファクターだと思う。

もう一つ、子育て部局を応援するメッセージとして、今後こども家庭庁ができて施策がどんどん広がっていくと、おそらく様々な仕組みや制度が増えていくと思う。子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点事業を一緒にした（仮称）子ども家庭センターというのが児童福祉法の中でも提唱されてきた。こういった支援業務がますます増えていくとしたら、人員の配置や予算、執務スペースの確保などをちゃんとしないと、どんなに良い条例を作っても、政策を担う人や予算の両輪がないとうまくいかないと思う。そういった声が出たということを市内部で伝えてほしい。

保健福祉部長は教育部局にいたこともあるので、教育部局との連携なども期待したい。余談になるが、子どもの声を拾うという点では、現在私は玉名高校と玉名高校附属中学校の運営協議会の会長もしているが、熊本県では学校運営協議会の中に生徒を入れている。子ども・子育て会議の委員に子どもを入れてほしいというわけではないが、子ども達にも何か意見を言える場所やシステムを作っていく必要はあると思う。そのためにはかなりの労力が必要だと思うので、そういった点からも予算や人員配置が必要だと思う。

(会長)

今の意見はしっかり関係者へ伝えて検討していただきたい。

(委員)

この条例を作ることによるメリットがよく分からない。丸亀市の条例の第9条には、計画を実施しなければならないということが書いてある。子ども子育て応援条例でも計画を作らなければならないとなると、子ども・子育て支援事業計画との整合性などはどうなるのか。そもそもこの条例が作られた市町村で、何かが変わったとか、良くなったとか、できることが増えたとか、そういったことがよく分からないので、もし実践した自治体で良い事例があれば説明してほしい。

(会長)

この条例を作ることによるメリットや条例があることで大牟田市の子育て環境がどう変わるのかといったことについて説明をしてほしいということだと思う。今日難しいようであれば今後の会議の中で説明をしてもらえればと思う。

(事務局)

(仮称) 子ども・子育て応援条例については、まだ条例の内容自体ができているわけではないので、丸亀市と同様のものとなるかは分からないが、罰則規定があるとか、条例を作ることによって国の支援が受けられるといったものではない。したがって、この条例ができたからすぐに何かが変わるとか、劇的に良くなるということは、今の時点では分からない。ただ、この条例を作ることによって、子どもや子育てを応援するという意識が市の中で、様々な場面で広がっていくということを目指していこうと思っている。条例が一つの拠り所となって、皆さんの意識や市の意識が変わっていくようになればと思っている。

条例を作った自治体に何が変わったかといった話はなかなか聞けていないが、先行的に条例を作った自治体からは、「条例を作ったことがゴールではなく、作った条例をどうやって広めていくかが一番大事だと思っているが、そこまでは至っていない。」という話を聞いた。本市の条例においても、条例を作って、それを広げていく、浸透させていくということが大事だと考えている。例えば、条例を作ったことで、大牟田市が子ども・子育てに優しいまちだということを対外的にアピールできるような形になればと考えている。

また、丸亀市の条例の第11条の「推進計画」については、条例の付則で「子ども・子育て支援法第61条の規定に基づき、市が策定した子ども・子育て支援事業計画は、第11条に規定する推進計画とみなす」というように規定されている。つまり、この子ども・子育て会議で議論している子ども・子育て支援事業計画を推進計画とするというような形をとっているので、大牟田市の条例でも同様の形にすれば、計画ばかりがたくさんあってということにはならないと考えている。

(会長)

おそらくこの条例ができると、計画そのものの中身、理念、内容や事業に反映されてくるのかなと期待をしている。先進事例があれば取り寄せていただいて、この会議に提示をしていただきたい。

(委員)

子育てで一番困っているのは現場の方や私たち保護者だと思うが、この条例を作って、

どういう方たちに周知し、どういう使い方をするのか。

(会長)

現在の構想で構わないと思うが、いかがか。

(事務局)

資料3に記載しているように、子ども・子育てを応援するというのは、当事者だけとか、それに関わる方だけでは不十分だと思っている。どちらかという、そういうことに関心のなかった方や今まで関係の薄かった団体などに条例についてお知らせをしていくことが大事になってくるのではないかと考えている。

(会長)

啓発の仕方や対象等について検討していただきたいというご意見かと思う。

(委員)

年度内に制定するスケジュールとなっているが、国がいつまでに作れと言っているわけではなく、先ほど子どもたちの意見も聞いてはどうかという意見もあったなかで、このスケジュールどおりに行かなければならないのか、もう少し時間をかけて丁寧を作る余裕があるのかどうか、お聞きしたい。

(事務局)

できればこのスケジュールで進めていきたいと考えているが、作業を進める中で、議論や手順を省くことがあってはいけないと思っている。十分な検討やヒアリングが必要になってきた場合には、スケジュールが後ろにずれることはあるかと思う。

(会長)

十分検討しながら進捗管理をしてもらえたらという意見かと思う。

(委員)

主に乳幼児の話になるが、母親が何らかの病気を発症して就業していない場合のサポートについて、実家が市内であれば祖父母が乳幼児の面倒を見られるのだろうと思うが、その祖父母が仕事をしている場合に、乳幼児のケアが困難になって、祖父母が休職せざるを得ないような場合も出てくる。そういう人がうちの医院でも何人かいる。そのように、乳幼児を育てている母親が病気を発症して自分で養育ができなくなって、保育所やこども園を利用したいという場合に少しハードルがあるように感じている。

また、他の地域に居住していて保育園等を利用している親子で、母親が病気になり、回復するまで実家のある大牟田で過ごしたいという場合に、今までの居住地の保育園等を退所してからでないと大牟田の保育園等を利用できないと聞いた。そうすると、病気が回復した時に、元の地域で保育園に入れない場合、居住地に戻れないとか、家族を分断することもありうる。そのあたりのフォローを大牟田市としてはどう考えているのか。

(会長)

資料2の事業の中身についての質問かと思う。のちほど事務局から分かる範囲で回答いただけたらと思う。今は条例についての質問をお願いしたい。

(委員)

条例で子どもたちの生活が直接変わるというわけではない。基本となるところをちゃんとしていないと、いくら条例を作っても、単に条例があるということにしかない。

一番大事なのは、保育園など、受け入れる側に対するサポートをしっかりしていくことなどではないかと思う。

(会長)

今の点についてはのちほどご回答をお願いする。条例の具体的な中身等についてはこれからということなので、今のようなことも参考にしながらということになると思う。私から一点。条例に盛り込む主な内容(案)のところで、「市民、学校、事業者、保護者等の役割」と書かれているが、これだけだと他力本願。当然この中には市の役割というの也被まれているということではないか。

(事務局)

当然そのとおり。

(委員)

条例を作って、それに基づいて動いていくという流れは分かったが、できあがった条例を見ても、具体的に何がという話になると思う。子育てをしている私たち世代からしたら、条例ができてこういうことができるようになったとかがあれば分かりやすい。丸亀市の条例の(地域の役割)に書かれている「子どもを見守り、子どもが安心して過ごすことができるように努める」というのはどこのまちでも一緒だと思うが、それをもとに、丸亀市がどのようなことをして、どうなったのか、もし分かれば次回教えていただきたい。

(会長)

皆さんの思いは、作った条例がきちんと機能するような視点で取り組んでもらいたいということにまとめられるかと思うが、今の段階で事務局からあれば。

(事務局)

丸亀市が条例を制定して、何か新しいことを始めたのか、何か充実したのかということについては把握できていないが、本市としては、条例の制定と併せて、何らか新しい事業をスタートするということは考えていきたい。

(会長)

ほかにならなければ、条例のことについては閉じたいと思う。

(会長)

その他に移る前に、先ほど質問があった件について、あらためてお願いしたい。

(委員)

産後鬱とか、精神疾患などで長期間母親が入院や自宅療養をしなければならなくなった場合、その母親は、自分自身もケアを受けなければならないのに、子どもの養育もしなければならない。そうした状況がストレスを生んで、母親の回復がさらに遅れてしまう。そういう状況のときにどういうサポートがあるのか、ほとんど知られていないと思う。医療機関も知らない状況。また、そういう状況に陥って実家に転居したときに、元々保育園を利用していた場合、そこを退所してからでないと転居先の保育園に入れないとなると、母親が回復したときに、元々の保育園に空きがなくなっていて、元の居住地に戻れないというケースも出てくる。そういうときに、どのような保育園の利用方法があるのか。また、そのことをどのように子育て世代に分かりやすく伝えているのかという

ことを知りたい。

(事務局)

保育所の運営は公費で行っているのですが、お話にあった状況で大牟田市に転居してこられたとすると、元の居住地と大牟田市とで二重に公費が支払われることになる場合もある。感情的には保護者やお子さんのためにという部分もあるが、公費で運営している以上、その利用については適正な管理をしていく必要があると考えている。

(会長)

複雑な事例だと思う。公費の取扱いはいろいろな原理原則があって大変かと思うが、できれば弾力的に各家庭の状況に応じた対応をしていただければ、事業者としても保護者としても、お子さんとしてもありがたいというご意見として受け止めていただいて、今後の検討をしてもらえたらと思うが。

(委員)

保育園に通ってないお子さんの場合はどうなるのか。例えば、自宅で養育している母親が病気になって入院をしなければいけなくなって、一ヶ月とか子育てが難しくなった場合に、その期間、保育園や認定こども園に預けたいとなったときは、本人が探すのか。それとも、市役所に来て、こういう状況だがどちらか紹介してもらえないかと相談した場合に、紹介してもらえるようなサービスはあるのか。

(事務局)

今のような状況であれば、市内の児童という制限はあるが、子育て短期支援事業がある。これは宿泊を伴う子どもの預かりのサービス。子どもを預かることに関する困りごとやご相談については、子ども育成課に相談してもらえれば、その世帯の状況に応じたその他のサービスも含んだところで対応させていただく。

(会長)

窓口は子ども育成課ということでもいいか。

(事務局)

子どもの預かりについてはそう。

(会長)

こういった場合はどこに相談したらいいかというのは、リーフレット等があるので、そうしたものの周知をいろいろな機関にしっかりしていただければ分かりやすいのかなと思う。

時間も押しているのですが、議題の6まではこれで終わりたいと思う。次回からもいろいろなご意見・ご質問等を受ける機会を設けていきたいと思う。

## 7 その他

子育て情報誌『おおむたっ子』、大牟田市保育士等人材バンク、次回開催日程について事務局から説明。

(会長)

委員の皆さんからそのほかないか。

(委員)

今、子どもがだんだん少なくなっていて、保育士の養成校の学生も減っている。人材不足というところで、先ほど保育士の人材バンクの話もあったが、他都市では、市町村が主体となって保育人材の獲得をしようという企画をやっているところもある。人材バンクと併せて、保育園、幼稚園、認定こども園と一緒に、市が主催で就職説明会を開催していただければ、保育人材の確保につながり、市にとってもありがたいと思うし、事業者にとってもありがたい。一括してやることで、学生が少ない中であっても結構参加してもらえるのではないかと思いますので、よければ検討してもらいたい。

(会長)

ご提案として受け止めてもらえたらと思う。

閉会（15 時 00 分）